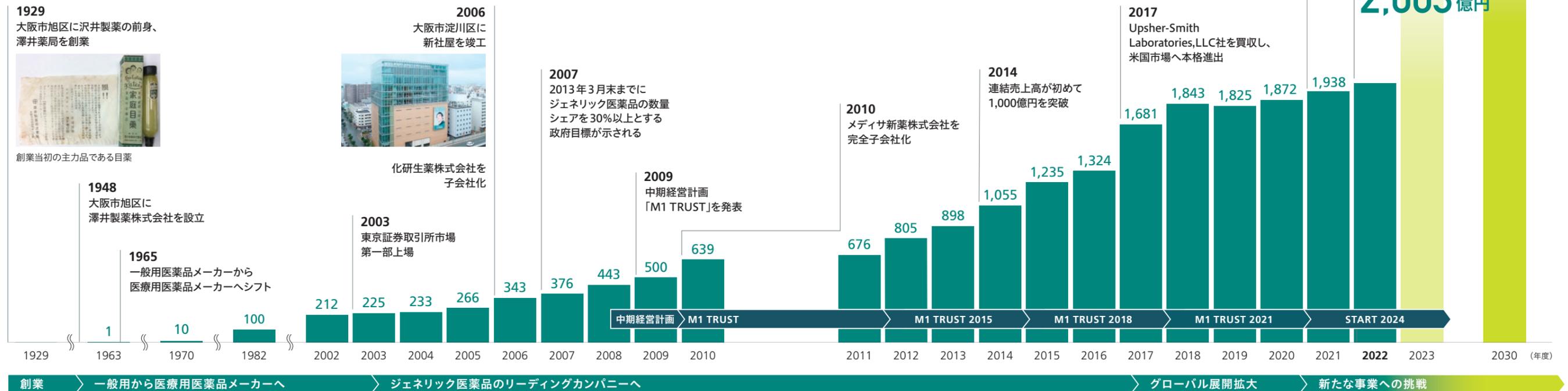


「なによりも患者さんのために」、 そして、すべての人の「健やかな暮らし」へ



非財務資本構築の歴史

1981

製造資本



GMP規格に準拠の
九州工場が竣工

医薬品の製造・品質管理の国際的な基準であるGMP規格に準拠した先進的な工場として、福岡県飯塚市に九州工場を建設しました。高品質なサワイ製品の安定供給を支えるとともに、沢井製薬のブランドイメージ形成にも貢献しました。

1984

知的資本



研究拡充を目指して
大阪研究所の開設

当時、独立した研究開発専用施設を有するジェネリック医薬品メーカーは多くありませんでした。早くから研究開発を重視する姿勢は、1994年の製剤研究センター、2015年の開発センターに引き継がれています。

2007

社会・関係資本



企業理念及び
行動基準を制定

従前よりモットーとして掲げていた「なによりも患者さんのために」を核に、全社員参加のもと、「使命」「挑戦」「願い」の3項目からなる企業理念を制定しました。また、企業理念を実行するための指針として、「行動基準」を定めました。

2009

社会・関係資本



中期経営計画
「M1 TRUST」を発表

「シェア拡大」「経営体質のさらなる強化」「ゆるぎないサワイブランドの構築」を基本方針として、5年以内の連結売上高1,000億円達成を掲げた計画を公表しました。基本方針は、その後の中期経営計画にも引き継がれました。

2013・2017

製造資本



関東工場・三田西工場を
建設し、生産能力を増強

2013年3月に関東工場(千葉県茂原市)の敷地内に新製剤工場を、2017年1月には三田工場の近隣に包装工程専門の三田西工場(兵庫県三田市)を建設。生産能力と災害対応を含むリスクマネジメントの強化を図りました。

2015

知的資本



開発センターを新設

新製品の開発はもちろん、製品の工業化や安定供給、発売済み製品の改良等の機能を担う拠点として、大阪市旭区にあった製剤技術センターと、研究所の一部機能を集約した、開発センターを本社近くの大阪府吹田市に新設しました。

2021

社会・関係資本



株式移転による
持株会社体制への移行

当社グループが今後も持続的な成長を続けるためには、既存事業の強化と同時に時代の要請に即応した新たな事業の育成を実現する必要があると考え、持株会社体制への移行を決断しました。

2022

人的資本



「S-Wingプロジェクト」を
実施

当社グループの長期ビジョンに盛り込まれている「ダイバーシティの推進」を目指し、約半年間のプロジェクト活動を経て、2023年3月、今後のアクションプランについて経営層への提言を行いました。

→ P.30 Topics